

令和 6年度予算見積調書

課室名： 県土整備政策課
 担当名： 建設DX推進担当
 内線： 5199

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
N336	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進		一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	土木技術管理費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	公共工事の品質確保に促進に関する法律第3条の1 1 公共工事の品質確保に促進に関する法律第7条の2		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9
					分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1
1 事業概要 全ての建設生産プロセスにおいて3Dデータ等を活用し、建設業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。 インフラ建設管理におけるDX戦略の推進 77,731千円			5 事業説明 (1) 事業内容 インフラ建設管理におけるDX戦略の推進 ア GISインフラデータ活用基盤運用・保守等業務 58,096千円 イ 電子納品保管管理システム保守・運用等業務 17,075千円 ウ CIM・電子検査の推進 2,560千円 (2) 事業計画 ア GISインフラデータ活用基盤 道路、河川などの3Dデータや県管理施設の点検データを保管、閲覧するためのGISについて、安定的運用とシステムの改善を行う。 イ 電子納品保管管理システム 工事や業務委託の電子成果品を保管、管理するための電子納品保管管理システムの安定的運用とシステムの改善を行う。 ウ CIM・電子検査の推進 CIMで用いる3次元CADデータ等の電子成果品を電子データのまま検査を行うことで、成果品作成や納品、検査の効率化を行う。 (3) 事業効果 ア 3Dデータを始めとするインフラデータの利活用促進による、建設業全体の生産性向上を図る。 イ 成果品保管のペーパーレス化により、受発注者双方の生産性向上を図る。 ウ 納品・検査のペーパーレス化により、受発注者双方の生産性向上を図る。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	77,731						77,731	△74,041
前年額	151,772						151,772	

事業内訳書

事業名	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進		
単位事業名	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進	予算額	77,731千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	77,731	△74,041	
合計	77,731	△74,041	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	28,421	△123,351	システム保守・運用 28,421千円
使用料及び賃借料	46,750	46,750	G I S 機器賃借料等（クラウド利用料等） 46,750千円
備品購入費	2,560	2,560	電子検査等の推進 2,560千円
合計	77,731	△74,041	